

ウォータークリーン工法採用時のお願い事項

ウォータークリーン工法のご採用大変ありがとうございます。ウォータークリーン工法の性能を最大限に発揮させるためそして安全性を担保するために、設計図面記入時に下記仕様にて明記をお願いいたします。

業者選定及び工法選定

(一財)日本建築センターが実施している建築技術審査証明事業のうち石綿含有仕上塗材除去にかかる審査証明を取得している業者及び工法

工法名

仕上げ塗材の撤去工法	
壁面等の場合	ウォータークリーン工法又は、集じん装置付き超高压水洗工法(100MPa)以上
狭小部・入隅等の場合	ウォータークリーンSG工法又は、湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法

飛散防止のためにできる対策

品質管理対策	
第三者機関での検査	特記仕様書に記載されているウォータークリーン工法仕様で工事が行われているか、各項目を第三機関にて検査を行う
浮遊物質 (SS)	25mg/l 未満
pH	pH5.8~8.6
アスベスト含有量	アスベスト検出限界値50本未満/l
処理後の水再利用	W工法、M工法において/使用上水の50%以上

産廃処理(除去材)	
産廃処理(除去材)	フレコンバッグ梱包のまま排出されるので安心
廃材排出	フレコンバッグ+プラスチック袋2重梱包
廃材処理	特別管理産業廃棄物または石綿含有廃棄物として排出

飛散防止のためにできる機器性能について

吸引装置の圧力と風量	
吸引装置の圧力と風量	確実な吸引性能を担保し施工を行う
吸引圧力/真空圧	-60~-90kp
風量	30~40m ³ /min

吸引時の排気 濾過	
吸引時の排気 濾過	気中のアスベストも確実に濾過
排気濾過方法	ジェットスクラバ方式 + HEPAフィルター

吸引から処理まで	
吸引から処理まで	
一貫密閉式処理	吸引した廃材と濁水が外気に触れることなく、一貫処理を行う

騒音管理基準	
騒音管理基準	
敷地境界管理	騒音値85dB以下